

アダチ鋼材 新鋭ファイバー加工機新設

切板加工の競争力強化

中部地区有力鋼材特約店のアダチ鋼材(本社・愛知県豊橋市、社長・安達道行氏)は、10段ストッカー付き出力4キロワットファイバー加工機を新設。本稼働に入った。レーザ加工機の導入に伴い、従業員用の駐車場として活用していた敷地に専用工場棟を増設した。切板加工品の付加価値競争力をさらに高める

とともに、新規顧客開拓を推進するなど、営業の裾野を広げる。総投資金額は約1億円。同社は一般鋼材をはじめ特殊鋼、非鉄金属板加工品は、機械加工

設備や工場設備関連向けがメイン。需要家の小ロット、即納要求への対応を強化するとともに、看板やディスプレイ向けなど、新規分野での受注獲得を狙い、新鋭ファイバーレーザ加工機の新設を決めた。

線材と線材製品
 D6 コイル・直棒
 鉄線・ナマシ、釘、針金
 ワイヤメッシュ

坂野興業株式会社

本社 03(3718)7311(代)
 社 054(624)1101
 静 047(354)6531
 浦安第二 047(351)1101



本稼働したストッカー付き新鋭ファイバーレーザ加工機⑤と新設した専用工場棟

人材の確保・育成こそ主力

工品を自動搬出する搬送システムを備えた10段ストッカーシステム(30PCL1eX-10)を装備した。母材の再セットアップの省人化、時間短縮で生産性向上を狙う。有効切断範囲は5×10サイズ。板厚19ミまで切板加工を中心に行う。また、新たに建築したファイバーレーザ工場棟「第7倉庫」の建屋面積は約500平方メートル。今春に竣工し、2・8ト天井クレーンも設けた。9月には新工場にて、三菱電機主催による加工機の展示会も行う予定。

安達社長は「新加工機の導入は大型連休ごろに終えていた。以降、思うように営業活動を展開できなかったが、今後新規分野への営業も積極化させたい」としている。

6月の鉄スクラップ輸出 4割増、越・台向け増加

6月の鉄スクラップ輸出量(財務省・貿易統計)は88万3千トで前年同月比40・4%(25万4千ト)増となった。前年同月を上回ったのは12カ月連続。ベトナムや台湾向けの大幅な増加が寄与した。ベトナム向けは今年2月以来4カ月ぶりに日本の輸出先1位となった。また、マレーシア向けは13万ト台と前月に続き過去最高の輸出量となり、日本の輸出先で第4位だった。

前月比では28・5%(19万6千ト)増加。

愛知製鋼の本社正門 保安センターを新築

愛知製鋼(社長・藤岡高広氏)は3日、本社工場正門に保安センターの新設工事を行っていったが、同日竣工し使用を開始したと発表した。正門周辺の景観向上と機能強化、建築面積



トピ 彦社長で今週される「知り集まれ」

同番 日本企業その事

テレ 今回事

次の通り。

千ト(前年倍)▽韓国(同26・台湾15万